

機関紙
News Release

ニュース リリース

発行日 2016-6-25

第 1 6 号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会
発行責任者 会長 柴田 貞二
TEL 0187-65-2525
事務局 〒014-0802
大仙市払田字念仏谷地27-1
新田亮子 TEL 0187-69-3108

平成28年度大仙市手をつなぐ育成会総会



平成28年度 大仙市手をつなぐ育成会総会

議 案 書

と き 平成28年4月14日 (木)
午前10時から
ところ 大曲広域交流センター

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議 事
 - 1) 平成27年度事業報告および収支決算の承認について
会計監査報告
 - 2) 平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)について
5. その他
6. 閉 会

【研修会】

テーマ 「障がい者虐待の現状について」

講 師 秋田県健康福祉部障害福祉課

主 査 田 口 光 弘 氏

平成28年度大仙市手をつなぐ育成会総会が左記の日程で開催されました。来賓として大仙市健康福祉部長兼福祉事務所長の小野地淳司氏と社会福祉法人大仙市社会福祉協議会会長の伊藤 稔氏の出席を得て会員皆様に励ましのお言葉を頂き感謝申し上げます。

大仙市各地区から36名の会員と委任状による出席者が16名、合計52名の出席者を得て開催されました。飛澤事務局の進行のもとに議事が進められ、各議案ともご承認を得たことに感謝申し上げます。毎年度総会終了後に行われている研修会、今年度は秋田県健康福祉部障害福祉課主査の田口光弘氏をお招き「障がい者虐待の現状について」と題して講演を頂きました。

議案 第1号 平成27年度はどんな事業をしたのかなあ！²



平成27年4月9日(木)大曲広域交流センターにて総会を開催しました。会員の出席者は委任状を含めて55名でした。



平成27年6月11日(木)視察研修「太陽の園」を見学しました。参加者は30名でした。



平成27年8月30日(日)能代市文化会館にて第57回手をつなぐ育成会秋田県大会(能代大会)が開催されました。大仙市手をつなぐ育成会からの参加者は15名(内、本人4名)でした。



平成27年度の交流・親睦大会は平成27年10月22日(木)奥羽山荘にて開催しました。参加者は22名でした。

その他主な行事への参加

月日	事業名	参加者
5・7・10・2・3月	役員会	5回各役員参加
6月4日	県育成会総会	会 長
6月・12月	機関紙発行	14号、15号
8月28日	平成27年度大仙市社会福祉大会	会 長
10月3日	東北ブロック大会	会 長
12月9日	合同研修会	会 長
2月18日	自立支援講演会	会員5名
2月25日	県南協議会横手市	会員6名

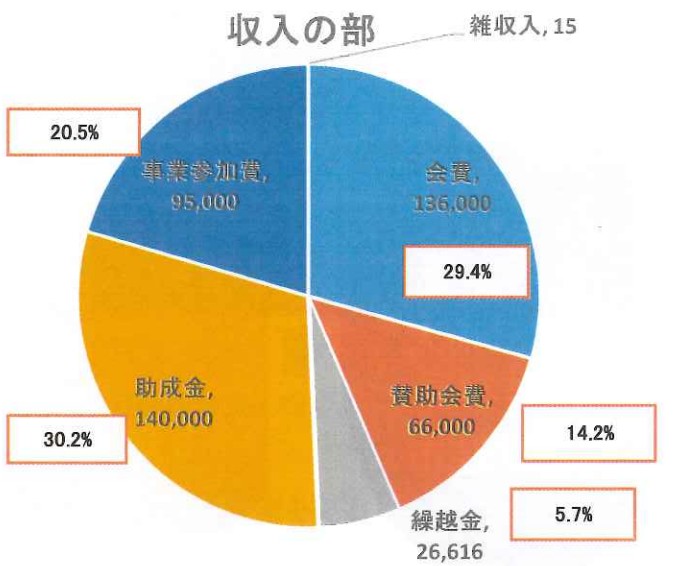


本人活動支援事業、平成27年度も認可になり平成27年11月14日(土)仙北ファミリーボウルにて開催しました。全体で40名の参加者でした。

平成27年度の収支決算額はいくらかなあ！

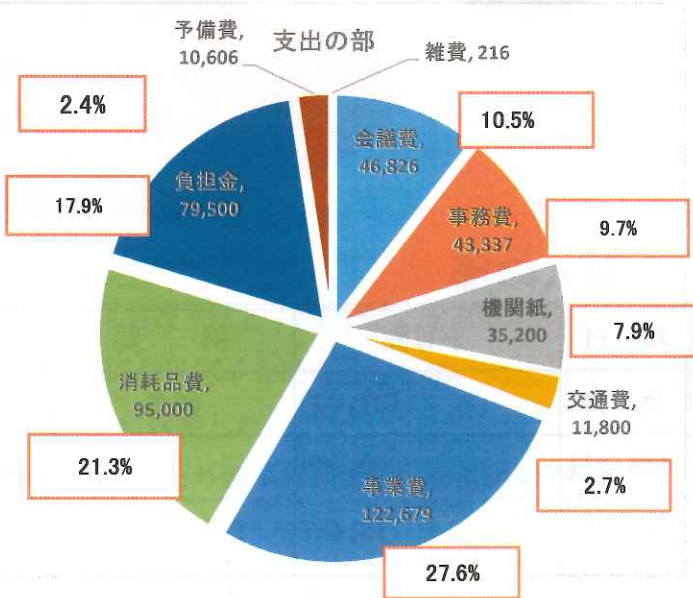
・収入の部

項 目	決 算 額	摘 要
会 費	136,000	68名
賛助会員	66,000	18名(内2社)
繰越金	26,616	前年度より
助成金	140,000	大仙市、社協
事業参加費	95,000	各事業参加者
雑収入	15	利子
合 計	463,631	



・支出の部

項 目	決 算 額	摘 要
会議費	46,826	理事会・総会
事務費	43,337	消耗品・通信費
機関紙	35,200	印刷代
交通費	11,800	県総会他
事業費	122,679	研修・交流会他
消耗品費	95,000	昼食代
負担金	79,500	県育成会・社協
予備費	10,606	弔電他
雑費	216	
合 計	445,164	



平成27年度会計監査報告

収入総額	463,631円
支出総額	445,164円
差引金額	18,467円
次年度繰越金	18,467円

平成28年3月24日、会長、会計係立会いの上に、平成27年度会計決算について会計帳簿、貯金通帳、現金の監査をしたところ正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので報告いたします。

平成28年3月24日

監 事 高 橋 哲 美
監 事 進 藤 功

上記議案、議案第1号として承認されました。

議案 第2号

平成28年度はどんな事業をするんでしょう!



・収入の部

項 目	予算額	摘 要
会 費	132,000	66名
賛助会員	60,000	
繰越金	18,467	27年度繰越
助成金	140,000	大仙市、社協
寄付金	16,000	
事業参加費	90,000	会員参加費
雑収入	533	利子他
合 計	457,000	

・支出の部

項 目	予算額	摘 要
会議費	45,000	総会・役員会等
事務費	50,000	郵送、コピー等
機関紙	50,000	印刷インク代
交通費	12,000	
事業費	120,000	
負担金	79,500	県育成会・社協賛助
消耗品費	90,000	
予備費	10,000	
雑 費	500	
合 計	457,000	

地区別会員数

大曲地区	24名	神岡地区	5名	南外地区	1名	賛助会員
中仙地区	17名	太田地区	5名			県外 1名 県内 17名
西仙北地区	6名	仙北地区	8名	合 計	66名	合計18名

上記議案、議案第2号として承認されました。

研 修 会

演 題 「障害者虐待の現状について」

講 師 秋田県健康福祉部障害福祉課

主 査 田 口 光 弘 氏

今年も真面目な研修会になりました。大仙市の健康福祉部の力を借りて秋田県健康福祉部から、講師を招きました。権利条約を批准して2年が経過しました。日本も条約に基づいた法改正が進んでいます。テーマ「障害者虐待の現状について」忙しい中、貴重なお話をして頂きました。概略を記載します。



- はじめに・・・「障害者虐待防止法が平成24年10月1日から施行されました。
- 障害者虐待防止法について
 - ・ 目 的・・・障害者虐待の防止、養護者に対する支援等に関する施策を促進し、もって障害者の権利利益の擁護に資する
 - ・ 法の対象となる障害者・・・身体障害、知的障害、精神障害(発達障害含)その他の心身の機能の障害がある者であって、継続的に日常生活・社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの
- 障害者虐待の類型
 - ・ 身体的虐待・・・暴力や体罰によって身体に傷やあざ、痛みを与える行為
 - ・ 性的虐待・・・性的な行為やその強要
 - ・ 心理的虐待・・・脅し、侮辱などの言葉や態度、無視、嫌がらせなどによって精神的に苦痛を与える
 - ・ 放棄・放置(ネグレクト)・・・食事や排泄、入浴など身近な世話や介助をしない等。によって障害者の生活環境や身体・精神状態を悪化、又は不当に保持しないこと
 - ・ 経済的虐待・・・本人の同意なしに財産や年金、賃金を使ったり勝手に運用し、金銭の使用を理由なく制限すること
- 法における「障害者虐待」
 - ・ 養護者による障害者虐待
 - ・ 障害者福祉施設等従事者等による障害者虐待
 - ・ 使用者による障害者虐待
- 虐待防止施策
 - ・ 障害者虐待の早期発見の努力義務
 - ・ 「障害者虐待」を受けたと思われる障害者を発見した者に速やかな通報の義務付け
 - ・ 障害者虐待防止等に係わる具体的なスキーム
- 秋田県の障害者虐待の状況(平成26年度)

	相談・通報・届出 (市町村受理分)	虐待と判断された件数 (虐待判断件数)	被虐待数
(1) 養護者による虐待	25件	14件	14人
(2) 障害者福祉施設従事者等による虐待	11件	2件	2人
(3) 使用者による虐待	1件	0件	0人
合 計	37件	16件	16人

視察研修会開催



平成28年度、視察研修会を6月9日(木)大仙市刈和野にあります、福祉エリア「ありす刈和野」に出掛けました。開所して一年が過ぎました。新しい形態の「障害福祉」施設です。介護保険に基づく共同生活介護と居宅介護支援、さらに障害関係の生活介護、共同生活援助等と一緒にエリアに住み、祖父、祖母と孫と一緒に住み居心地の良いサービスを提供する新しい形態の福祉施設でした。

今回の研修への参加者メンバーになります。研修を終えて、玄関先にて、参加者集合写真になります。
良く数えると20名になっています。福祉バス乗車は19名でした。現地、自家用車にて1名の参加者がいた・・・
平成28年3月の役員会に於いて、研修場所の決定について相談、一番の提案者が故三浦ミサ子様(平成28年4月8日急病にてご逝去された)でした。彼女の提案が実現した研修会になります。



福祉エリア「ありす刈和野」の全景になります。「いつかは日本一の施設へ」パンフレットに掲げている、施設の理念であると理解します。「ありす刈和野」を利用することで、今よりもっと笑顔になってくれると信じて・・・インパクトのある言葉でした。
説明者は施設長の高橋 仁氏でした。育成会の会員も高齢化が進んでいます。丁寧に気配りを配しつつ、研修へのご配慮に感謝申し上げます。



お

く

や

み

平成27年8月から平成28年4月までに大仙市手をつなぐ育成会会員等の仲間にて、ご逝去された方々です。生前の活躍を惜しみ、ただ残念であった。ご冥福をお祈り申し上げます。

細谷洋造 様	平成27年8月23日	賛助会員として、大仙市育成会活動に支援して頂きました。
高橋三郎 様	平成27年12月	大曲地区の正会員として長年に渡って育成会活動に尽力されました。
三浦ミサ子様	平成28年4月8日	中仙地区の正会員、事務局、理事として長年に渡って育成会活動に尽力されました。

知ってほしい・知っておきたい(2)

一知的障害と「警察」一

全国手をつなぐ育成会連合会では育成会ミッションとして「知的障害理解と権利擁護」を題材に、今回「その1 警察版」を発行されました。「知ってほしい・知っておきたい」知的障害と「警察」をテーマに冊子の中から抜粋して、2回ほどに分けて記載したいと思います。冊子の利用方法に身近な仲間と勉強会をしましょうと謳っています。それに添った情報伝達であると理解して頂ければ幸いです。

第2章 警察に「知ってほしい」こと(前回のつづき)

特性⑦・・・知的障害者は

「だまされやすく」「迎合性」があります

深くものごとを考えることが苦手で、常識から見て信じられないような被害にあうことがあります。特に損得勘定は苦手です。女性は親切にしてくれる男性に、男性はやさしく声を掛けてくれる女性に弱い傾向です。

特性⑧・・・知的障害者は

「特定のものに目を奪われ」「同じことを繰り返します」

特定のものに強い関心を持ち、それから目や気持をそらすことができないために、何度も同じことを繰り返す人がいます。また、教えられたことを守らない人もいますが、逆に、きちんと守ろうとするがゆえに困ったことが起きることがあります。
本人に悪気はない、犯罪だという認識もない、社会は分つてくれるか?

特性⑨・・・知的障害者は

場の「空気が読めない」のです

言葉を話せない人もいますが、言葉を話すことができる人であっても、言葉のやり取りが一般の人のように順調であるかはいまいちには言えない。適切なコミュニケーションを取ることが困難な人が多く、障害の特性であることを理解してほしい。

特性⑩・・・知的障害者は

「家族は懸命ですが」将来を心配しています

法整備や施策が進んでいるとはいえ、現実には多くの知的障害者は家族と一緒に暮らし、家族に守られて生きており、地域で自立した生活を営む人は多くありません。親が高齢になっても、抱え込んでいる家庭が多い。「老障介護」が問題になっています。「親子心中」や「子殺し」事件も発生しています。予防できないか、まずは実態を知ってほしい。

※ もしかしたら知的障害かもしれません

- ▶ 通報を受けてかけつけた警察官が
- ▶ 「職務質問したら、逃げようとした(ように見えた)」
- ▶ 「待て!と言ったら、素直に待っている」
- ▶ 「話が通じない」
- ▶ 「何を聞いてもハイとしか言わない」
- ▶ 「オウム返し」
- ▶ 「視線が合わない」
- ▶ 「急に暴れ出した」
- ▶ 「落ち着きがない」等々

警察官の皆様へ

「どうもおかしい」「何が変わったぞ」と感じたら、知的障害者を疑ってみて下さい。もし「知的障害では?」の疑いを抱いたら・・・いきなり逮捕しないで、まず「身元」を確認し「家族に連絡」して下さい。
もし連絡がつかなかったら、近くの福祉事務所等や地元の手をつなぐ育成会に連絡をお願いします。
公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会
Tel 018-864-2718

大仙市手をつなぐ育成会

入会のご案内



障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり

福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者の一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい（児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 会員2000円 賛助会員2000円以上

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 TEL0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 TEL0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

細谷洋造 様	鎌田英壽 様	福岡恵子 様
武田雄平 様	茂木建設(株) 様	児玉裕子 様
渡部英治 様	泉 繁 夫 様	高橋輝明 様
佐藤芳郎 様	檜尾 茂 様	中野昭満 様
小林勝征 様	鈴木 明 様	千馬洋子 様
古谷武美 様	村上哲郎 様	佐藤育男 様

左記の方々が平成27年度から28年度に掛けての大仙市手をつなぐ育成会(以下、育成会という)賛助会員の皆様です。皆様のご支援によって育成会が正常な形で運営されている事に感謝申し上げます。平成28年度も引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

遠くは青森県から、美郷町、横手市、湯沢市、秋田市、大仙市と地域を問わずご支援を頂いている事にも感謝申し上げます。

育成会では年2回の機関紙発行にて皆様に情報をお届けするのが推一、温情に報いる方法であると思っています。愛読のほどお願い申し上げます。

大仙市知的障がい者相談員

飛澤ヒロ子(小貫高畑)	0187-62-3715	藤原正人(協和船岡)	018-893-2139
進 藤 功(六郷西根)	0187-65-2622	新 田 亮 子(払田)	0187-69-3108
工 藤 正 悦(北檜岡)	0187-72-3333	高橋哲美(太田町)	0187-89-1139
佐々木文雄(大沢郷)	0187-78-1656		

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、相談員に関することは社会福祉課に問い合わせ下さい。

大仙市社会福祉課 TEL0187-63-1111 (内線162番)

※ 公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

平成28年度に入りました。大仙市手をつなぐ育成会での事業も総会を終えて研修会へと進みました。驚くに、長年に渡って事務局、理事、大仙市知的障がい者相談員等で活躍なされた「三浦ミサ子様」が急病にて、4月8日に冥土に旅立てられました。会員一同、驚きと悲しみが一杯でありました。長年に渡って育成会の為に尽力を頂き、感謝とご冥福を心からお祈り申し上げます。機関紙も第16号の発行になります。記載する内容もマンネリ化の傾向にあります。少しでも皆様のご支援を頂き継続したいものです。 Teiji shibata